

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |               |            |  |
|---------|---------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1990100099    |            |  |
| 法人名     | 有限会社保泉商事      |            |  |
| 事業所名    | グループホーム花みずき   |            |  |
| 所在地     | 甲府市上阿原町526番地1 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成25年2月1日     | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |             |  |  |
|-------|-------------|--|--|
| 評価機関名 | 山梨県社会福祉協議会  |  |  |
| 所在地   | 甲府市北新1-2-12 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成25年2月22日  |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

開設以来5年半となります。体操、レクリエーション、カラオケ、DVD観賞、又ボランティアの皆さんによる活動、外出・外食など入居者の楽しみに重点を置いて参りました。当ホームの畑では、ボランティアさんの協力で、入居者の皆さんと共に園芸や農作業を行っております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

事業所は、甲府バイパスから入った静かな住宅地にあり、葡萄畑が広がって季節感を味わう事が出来る。居室からは、ウッドデッキに出て、利用者が思い思いに過ごす事ができ、時には子どもたちが通り癒しの場でもある。事業所の理念でもある「いつでも・どこでも・だれにでも」をモットーに管理者を始め職員は利用者や家族に信頼され、安心して地域の一員として過ごされるように日々取り組み、自治会にも加入し利用者と一緒に回覧板を回し情報の共有を図っている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |   |  |

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホーム花みずき

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価(実践状況)  |      | 外部評価  |  |
|--------------------|-----|--|---|------|---|--|
|                    |     |  | ユニット名( )  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容   |  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |   |      |   |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                             | 「地域に根ざして、いつでも、どこでも、誰にでも」を理念に掲げ域の中で温かい介護サービスを目指している。                   |      | 玄関、厨房に理念を掲示し、常に管理者、職員は意識を持って取り組んでいる。月1回の全体会議の中で、理念について話し合い、入居を希望され条件にあった方は、差別なく利用できるよう支援している。また、会議の中で職員間において、平等に対応した支援を行っている。 |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している                             | 地域活動にも参加するよう努めている。夏には近所の方が自作の農作物を届けて下さっている。                           |      | 自治会に加入し、回覧板は利用者と一緒に次の家に回している。区や組の行事、清掃作業には職員が参加し地域の一人として、日常的に交流している。  |  |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                           | 地域の方のご希望で施設を案内したり、ご自宅に伺ってグループホームの説明をしている。                             |      |   |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている        | 2ヶ月に1回の割合で運営推進会議を開催し、サービスの向上に努めている。                                   |      |   |  |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                   | 甲府市南東地域包括支援センターには、日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力して頂いている。 |      | 施設の利用者が少ないため、現状を報告し運営面での相談をしたり、身体介護が難しい利用者について、介護の方法を、家族と共に指導を受け改善に向けて連携を取り、協力関係を築くよう努めている。                                   |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 外部研修を始め、研修を受けた職員による内部研修を実施することにより、身体拘束をしないケアに取り組んでいる                  |      | 東西2か所の玄関は、常時施錠しているが、利用者が外に出る時は、職員と一緒に出かけている現状である。スピーチロックがあった時は管理者がその場で注意している。また、朝、夕のミーティングの際にスピーチロックについて職員に注意を促している。          |  |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている        | 施設内研修等で高齢者虐待防止について学び、その防止に努めている。                                      |      |   |  |
| 8                  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 外部研修で、権利擁護に関する制度について学び、利用者の家族等にその活用を説明している。                           |      |   |  |
| 9                  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約書及び重要事項説明書を提示し説明して、疑問点等をその場で説明して理解・納得をして頂いている。                      |      |   |  |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価(実践状況)  | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
|                             |     |  | ユニット名( )  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10                          | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 日々の生活を送る中で、利用者や家族等の意見、要望をお聞きして運営している。又、ボランティアに利用者との話し相手になって貰い、その時の意見・要望をお聞きしている。  | 利用者、家族の意見や要望は個人的に管理者が聞いて直接対応している。意見箱を設置しているが要望等入ってはいない。   |                   |
| 11                          | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月開催する全体会議及びケア会議において、運営に関する職員の意見や提案を聞いて、運営するよう努めている。                              | 介護体制は規定どおりではなく、流動的に対応する意見や介護の備品に関わる意見の申し出がある、出された意見は検討して職員間で共通な介護サービスが提供できるよう、職員の意見を日常の運営に反映している。 |                   |
| 12                          |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 代表者は、管理者を通じて、職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、職場環境・条件の整備に努めている。                                |   |                   |
| 13                          |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 毎月開催する全体会議及びケア会議において、各種の勉強会も開催している。外部の研修会にも積極的に時間の許す限り参加して、OJTに取り入れている。           |   |                   |
| 14                          |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 甲府市南東地域包括支援センター及びグループホーム協会関係の集まりには参加して、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させている。 |   |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |   |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居相談から入居に至る過程で、本人が困っていること、不安なこと、要望等をお聞きして、本人の安心を確保している。                           |   |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居相談から入居に至る過程で、家族が困っていること、不安なこと、要望等をお聞きして、施設事前見学、家庭訪問等を繰り返して実施して関係づくりをしている。       |   |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 本人と家族との面談、紹介頂いたケアマネージャーとの相談を通じて、介護支援サービスを見極め、他のサービス利用も含めた対応をしている。                 |   |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 本人のできること、できないこと及び趣味趣向を見極め、人生の先輩として尊厳を持って接している。                                    |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価(実践状況)  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                    |      |  | ユニット名( )  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19                                 |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                           | 利用者と家族の面談は、利用者の楽しみの一つであることを家族の方にご理解して頂き、面会回数を多くして頂くと共に施設での利用状況を説明している。  |  |                   |
| 20                                 | (8)  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                       | 利用者の菩提寺住職・友人知人・昔の趣味仲間等が面談に<br>来られ、居室において歓談されております。  | 家族の面会時に、馴染みのコーヒー店に行ったり、昔の仲間や知人が事業所を訪ねて来た折には、観光地などへ車で一緒に出かける。   |                   |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | レクリエーション、機能訓練等、職員が積極的に関わり、利用者同士が支え合う関係を作っている。   |  |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 他へ入院入所され、フォローが必要とされた場合は、職員が訪問して相談支援をしている。   |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 毎日の生活の中で、小さな変化も見逃すことなく、その人らしい生活を送って頂けるよう支援している。   | 日々の会話の中から対応している。ホールや居室に行き、利用者と会話を多くするようにして、個々の意向や希望を聞き把握している。また、本人が希望や意向を伝えられない時は、表情や行動、仕草から把握して、職員間で情報を話し合い家族にも繋げている。           |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居前に、ご自宅、施設、病院等を訪問して事前調査を行い、本人、ご家族関係者から生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等をお聞きしている。入居後もその都度補足事項をお尋ねしてその把握をしている。 |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一人ひとりのがその日その日で状況が変化するので、バイタル、排泄、食事、心身状態をチェックして、現状の把握に努めている。   |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人、家族、前ケアマネジャーと話し合い、それぞれの意見やアイデアをお聞きした中で、当施設のケア会議を開催の上、介護計画を作成している。   | 介護記録を基に情報を共有し、利用者や家族の思いや要望を反映し、ケアマネジャーが問題提起しケア会議で検討し介護計画を立てている。アセスメントとモニタリングを繰り返しながら設定期間毎の見直しはもとより、本人や家族からの要望や状況の変化に応じて見直しをしている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子を個別記録に記入し、入居者の体調の変化等職員間で情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。  |  |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価(実践状況)   | 外部評価  |  |
|----------------------------------|------|---|--|---|--|
|                                  |      |   | ユニット名( )   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 28                               |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 当施設の機能性については、利用者個々の状況変化に対応してその都度整備している。設備等の不足については、補足対応し多機能化している。                        |   |  |
| 29                               |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 民生委員・ボランティア・近隣の方々・消防等と協力しながら支援している。  |   |  |
| 30                               | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 当施設の協力医院医師が隔週で入居者を往診している。その主治医の指示に従い支援している。  | 本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。受診や通院は家族の対応を基本としているが不可能な時には職員が代行している。協力医が往診した場合は、往診記録ノートを管理者が記入し職員と共有している。また、家族が対応した場合、医師の内容や薬などについても記録し連携を取っている。          |  |
| 31                               |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護師が夜勤業務に従事しており、入居者の健康管理、異常の早期発見に努めている。  |   |  |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時に医療機関を訪問し、連携を保ちながら情報交換や家族との相談に努めている。   |   |  |
| 33                               | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 状況に応じて協力医院医師と連携し、家族・本人と話し合いを行っている。次いで方針を決め全職員が方針を共有している。                                 | 重度化した場合、事業所での看取りは不可能なことを家族に説明し、入居の際、特別養護老人ホームの申請をしている。重度化についての状態は、記録の中で日常生活が一人で出来なくなった場合とし、家族、医師と相談し対応している。                                       |  |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 入居者の急変や事故発生時に備えて、全職員は応急手当や初期対応の訓練を行っている。施設内勉強会もしている。                                     |   |  |
| 35                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 入居者も参加する防災訓練を年2回行っている。そのうち1回は夜間想定で、内容は初期消火、避難誘導、通報訓練をしている。                               | 夜間を想定し2人一組で訓練を行った、火災時の訓練は、避難誘導等のマニュアルを作り実施しているが、夜勤者一人ずつの訓練や地域の協力を得ながらの訓練はされていない。電気系統については、点検をし、災害に備えて、飲料水、食料などの備蓄品も用意されている。                       | 夜間を想定した訓練を、職員一人ひとりが体験する事で、問題点が見えてきます。また訓練内容は記録し職員間で検討して、今後につなげていける事に期待したい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |   |  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 入居者の今日に至るまでの生活を尊重し、人生の先輩であることを話して、そのように接するようにしている。入居者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をするよう話し合っている。 | 職員は日常生活の中で、利用者は人生の先輩として尊厳を持って接している。トイレ使用時には、ドアは忘れず閉め、利用者の部屋に入る時は、ドアのノックをし、布団を干す折にも断ってからにしている、言葉掛けについては、管理者も常に職員サイトに注意して、一人ひとりの誇りやプライバシーの確保に努めている。 |  |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価(実践状況)  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | ユニット名( )  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                        | 入居者の状態に合わせた接遇をして、本人が思いや希望を表せるように働きかけを行い、分かり易い説明と共に自己決定や納得出来る支援をしている。          |  |                   |
| 38 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している    | 入居者個々の日々の生活ペースを最大限尊重して、その人の考え方で過ごして貰っている。                                     |  |                   |
| 39 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                     | おおむね2ヶ月に1回異動美容院を利用している。パーマメント、カット等希望に応じている。日常は、お持ちの化粧品を利用して、身だしなみやおしゃれを支援している |  |                   |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている        | 一人ひとりの好みをメニューに取り入れ、利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。                                     | 利用者一人ひとりの好みを取り入れた献立を、サービス業者が対応し、食材も届けてもらっている。昼食は、利用者と職員と一緒に買い物に行く。盛り付け、片づけ、食器洗いなど一連の食事づくり等を職員と一緒にやっている。      |                   |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている             | 食べる量や栄養バランス、水分量については、最も気を遣っており、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。                           |  |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                      | 毎食後の口腔ケアについては、職員の声かけ・誘導で全員を行っている。義歯の方も多いため、口腔内の清潔に心がけている。                     |  |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている      | 入居者の殆どがリハビリパンツ・パットを使用している。一人ひとりの排泄間隔を把握してトイレ誘導を行っている。                         | 職員は、利用者一人ひとりの力や排泄パターンを記録し把握している。トイレでの排泄を大切にしながら、リハビリパンツとパットで本人に合わせて対応している。食事前には、さげなく声かけをしてトイレで排泄できるよう支援している。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                      | 繊維質を多く含む食物の工夫をしたりしているが、薬で対応している方もいる。散歩や体操等運動を多く取り入れるようにしている。                  |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴は毎日行っていて、2日置きの間隔で楽しんで頂いている。入浴時間はおおむね30分程度で                                  | 入浴は毎日利用できるが、基本的に午後の利用が中心である。季節に応じて、菖蒲湯やゆず湯で入浴を楽しむ工夫をしている。また、同性介護を基本として、利用者の心情を察した配慮を大切にしている。                 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価(実践状況)   |  | 外部評価              |  |
|----|------|--|--|--|-------------------|--|
|    |      |  | ユニット名( )   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 夜間安心して気持ちよく眠れるよう、日中は体を動かすよう促して体調を整えていただいている。   |  |                   |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 職員全員は「お薬手帳」「薬剤師の説明控」にて、薬の目的や副作用、用法や用量について理解している。服用時も本人に手渡し、完全に服用するまで見守っている。                                  |  |                   |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | 施設の前の庭園を利用して園芸や農作業を職員・ボランティアの方と楽しんでいる。月1回の外出・外食は楽しみの一つである。ボール遊び、カルタ取り、カラオケ、ゲーム等に参加を促し気分転換を図っている。             |  |                   |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 暖かい季節は、午前午後1回戸外散歩を30分程度行っている。食料品等の買い物にも同行している。体調の許す限りで家族には本人の希望場所に同行して貰っている。月1回の外出・外食は、入居者の希望をお聞きしながら実行している。 | 日々の中で、玄関前にある鳥のえさ台に餌を置きに行ったり、天気の良い日には、40分程度希望する利用者4~5人で散歩に出かけている。また、一人で出かけた利用者は、職員と一緒に戸外へ出かけている。利用者全員で月1回は外食に行ったり、季節には花見に行く等、外出の支援を積極的に行っている。   |                   |  |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 家族から必要程度の金銭をお預かりし、施設で管理している。食料品等の買い物時、入居者が職員と同行して、購買希望品は職員が代行して購入している。                                       |  |                   |  |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 携帯電話は規制していないので、電話可能な方は自室でかけている。入居者が手紙類を差し出す時は施設で対応している。  |  |                   |  |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 全員が共用する食堂やホール、廊下等では、清潔感、照明、温度に配慮し快適に過ごして頂いている。トイレや浴室に関しては、清潔さと同時に臭いにも配慮している。                                 | 共有空間は、サンルームからの柔らかい日差しが差し込み、椅子にかけて利用者が好みに過ごせるになっている。食堂は、円形テーブルや座り心地の良い椅子があり、広い窓からは、えさ台に来る鳥たちを楽しむ事が出来る。キッチンも広く利用者が手伝い易い雰囲気である。トイレには、利用者の名前の書かれた手ぬぐいが掛けてあり清潔になっている。廊下の天井には、空気ファンが4か所取り付け空気の流れに配慮している。 |                   |  |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共用空間のホールには、入居者一人ひとりの椅子を用意して自由に過ごすことが出来るよう配慮している。   |  |                   |  |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室の持込については、電熱器・火気使用品・ナイフ等の危険物以外は特段制限していないので、家具や椅子、テーブル等使い慣れたものや好みのものを用いて過ごされている。                             | ベッドや整理ダンス、テレビ、炬燵等、馴染みの物が持ち込まれ、畳の居室もあり、それぞれの利用者の居心地の良さに配慮している。部屋は明るく、デッキに出る事ができ四季折々の風景を楽しむ事が出来る。  |                   |  |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 建物内部は、入居者が場所を理解出来るように矢印や明示看板を用いている。トイレや浴室は安全に利用出来るよう広く工夫されていて、また職員が介助し易いようになっている。                            |  |                   |  |